

平戸市の財政状況



市では、毎年2回「市の財政状況」を公表しています。今回は、平成26年度決算の概要と平成27年度上半期の執行状況についてお知らせします。

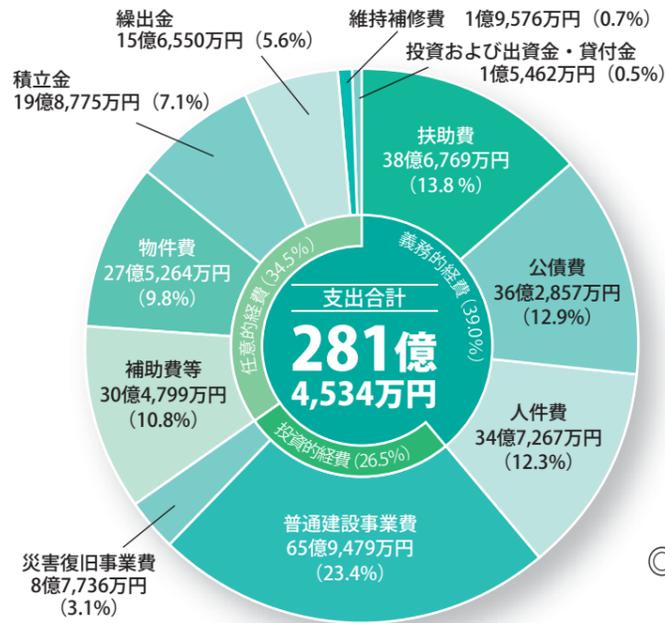
■お問い合わせ 企画財政課財政班 ☎内線2345

一般会計支出

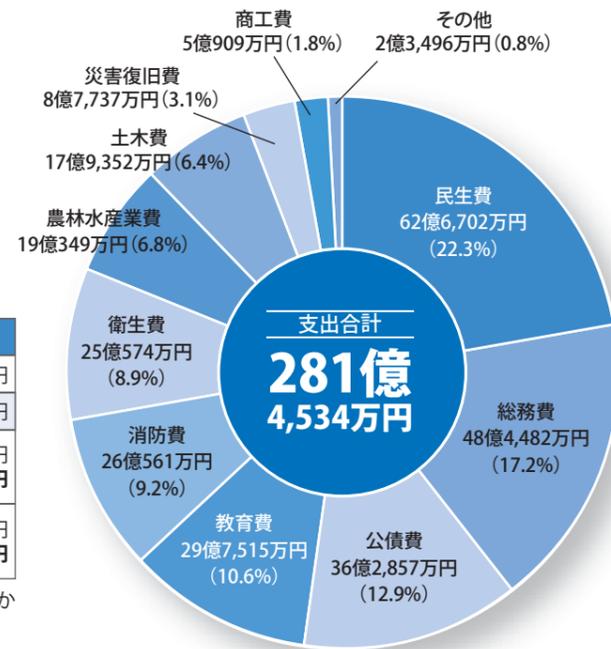
平成25年度と比較して48億5,895万円、20.9%増加

支出では、平成25年度と比較すると、人件費や維持補修費などの減少する一方で、「やらんば！平戸」応援寄附金の増加に伴う積立金と物件費（寄附に対する返礼品など）の増加や普通建設事業、扶助費が増加したことにより、総額で48億5,895万円、率で20.9%の増となりました。また、市債の繰上償還を5億8,772万円行い将来の負担軽減（利子軽減額2,107万円）を図りました。

◎支出の性質別内訳グラフ



◎支出の目的別内訳グラフ



市民一人あたり
83万8,358円を支出

※平成27年3月31日現在人口33,572人で計算

■市民1人あたりの負担とサービスなど

区分	平成26年度	平成25年度
市民1人が負担したお金(市税)	8万2,231円	7万8,921円
市から受けた公共サービス(支出合計)	83万8,358円	68万1,737円
貯金現在高(基金)	27万4,302円 92億887万円	21万5,927円 73億9,247万円
借金現在高(市債)	86万4,605円 290億2,651万円	81万3,652円 278億5,619万円

※負担したお金(市税)と、市からの公共サービスとの差額には、国や県からの補助金など税以外の収入が充てられています。

※貯金現在高(基金)と借金現在高(市債)の下段の数字は決算額

主要事業

平戸市消防庁舎整備事業



事業費 7億1,829万円
【総事業費(H24～H26)8億9,218万円】

平戸市未来創造館整備事業



事業費 6億6,283万円
【総事業費(H24～H27)12億3,153万円見込み】

事業名	事業費	事業名	事業費
消防防災無線デジタル化整備事業	9億1,555万円	本庁舎施設整備事業	2億5,350万円
道路新設改良事業	8億7,131万円	街なみ環境整備事業	1億7,567万円
漁港施設整備事業	7億1,225万円	第69回国民体育大会開催事業	1億2,666万円
小中学校施設整備事業	5億3,895万円	鳥獣被害防止総合対策事業	1億2,107万円
ふるさと応援寄附金推進事業	3億5,969万円		

※平成26年度から平成27年度に繰越した事業費は含んでいません。

決算報告

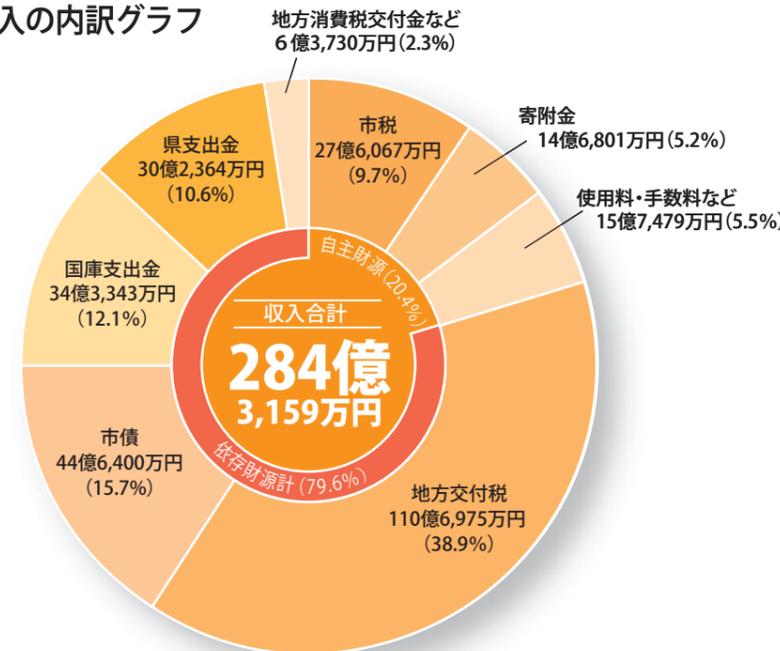
1億1,479万円の黒字決算

平成26年度の一般会計の決算額は、収入が284億3,159万円、支出が281億4,534万円となり、平成27年度への繰越事業の財源を差し引いた実質収支は、1億1,479万円の黒字となりました。

◎決算の状況(一般会計)

区分	平成26年度	平成25年度	対前年度増減額
収入総額	284億3,159万円	238億4,666万円	45億8,493万円
支出総額	281億4,534万円	232億8,639万円	48億5,895万円
差引額	2億8,625万円	5億6,027万円	△2億7,402万円
翌年度に繰越すべき財源	1億7,146万円	3億3,679万円	△1億6,533万円
実質収支	1億1,479万円	2億2,348万円	△1億869万円

◎収入の内訳グラフ



一般会計収入

市の自主財源は20.4%

収入は、平成25年度と比較すると「やらんば！平戸」応援寄附金の増加や、大型建設事業に係る合併特例債の活用による市債の増加などにより、総額で45億8,493万円、率で19.2%の増となりました。収入のうち、市税や使用料など市で調達できる「自主財源」の割合は、20.4%で4.0%の増となりました。

■目的税の使いみち

区分	決算額
街路整備(亀岡循環線)	45万円
市債償還(都市計画関係)	4,903万円
合計	4,948万円

入湯税

区分	決算額
鉱泉源の保護管理施設整備	1,258万円
消防施設等整備	22万円
観光施設整備	495万円
観光振興	594万円
合計	2,369万円

■市税の内訳

区分	金額	増減率
市民税	11億3,109万円	7.3
固定資産税	12億3,219万円	△0.4
軽自動車税	9,466万円	1.2
市たばこ税	2億2,956万円	△3.8
都市計画税	4,948万円	△3.4
入湯税	2,369万円	△15.2
合計	27億6,067万円	2.2

◎一般会計(収入)

区分	予算現額	収入済額
市 税	26億2,828万円	10億5,002万円
地方交付税	107億 100万円	72億 845万円
分担金・負担金	2億3,588万円	8,786万円
国庫支出金	30億4,395万円	8億4,439万円
県支出金	22億9,767万円	1億5,555万円
寄 附 金	15億 199万円	9億 533万円
市 債	37億8,940万円	0円
そ の 他	29億6,674万円	7億8,365万円
収入合計	271億6,491万円	110億3,525万円

◎一般会計(支出)

区分	予算現額	支出済額
総 務 費	58億4,541万円	1億7,545万円
民 生 費	63億5,745万円	3億4,197万円
衛 生 費	28億3,671万円	3億1,974万円
農林水産業費	18億 474万円	1億 75万円
土 木 費	19億5,732万円	5,682万円
教 育 費	30億7,762万円	1億2,520万円
公 債 費	31億1,902万円	15億4,750万円
そ の 他	21億6,664万円	8,192万円
支出合計	271億6,491万円	27億4,935万円

◎特別会計

区分	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険(事業勘定)	58億9,614万円	23億3,908万円	24億4,577万円
国民健康保険(度島直診勘定)	6,882万円	942万円	931万円
国民健康保険(大島直診勘定)	1億2,403万円	2,198万円	2,429万円
後期高齢者医療	4億1,560万円	1億2,406万円	1億2,533万円
介護保険(保険事業勘定)	44億3,451万円	16億2,345万円	17億1,008万円
介護保険(サービス事業勘定)	3,062万円	1,141万円	1,345万円
農業集落排水事業	1,256万円	80万円	547万円
宅地開発事業	800万円	404万円	77万円
あづち大島いさりびの里事業	1,179万円	0円	655万円
電気事業	2,028万円	424万円	465万円
駐車場事業	488万円	215万円	225万円
工業団地事業	3,380万円	0円	509万円
給与管理	33億2,262万円	0円	15億8,648万円

◎企業会計

区分	予算現額	収入済額	支出済額	
水道事業	収益的収支	9億6,831万円	4億 155万円	1億9,741万円
	資本的収支	9億8,880万円	9,895万円	1億7,004万円
病院事業	収益的収支	24億3,100万円	8億5,743万円	8億9,728万円
	資本的収支	2億6,579万円	4,946万円	8,837万円
交通船事業	収益的収支	2億1,425万円	6,921万円	5,786万円
	資本的収支	2,603万円	0円	1,297万円

※収益的収支・・・経営活動によって発生するすべての収入と支出

※資本的収支・・・施設の建設改良に関する投資的な収入と支出

◎市債の残高

(市民1人当たり105万2,360円)

※平成27年9月30日現在人口33,319人で計算

区分	残 高
一般会計	276億3,329万円
水道事業	57億8,973万円
病院事業	13億7,921万円
交通船事業	5,723万円
国民健康保険(直診勘定)	1億1,597万円
農業集落排水事業	8,814万円
電気事業	0円
合 計	350億6,357万円

◎財産の状況

区分	面積・金額
土 地	981万8,683㎡
建 物	25万2,789㎡
有価証券	1,355万円
基 金	105億7,114万円
債 権	4億 858万円
出 資 金	6,468万円
出 捐 金	1億 44万円

◎一時借入金の状況

平成27年9月30日現在は、ありませんでした。

執行状況

限られた予算の中でまちづくりを実施中
 平成27年度上半期(4月～9月)の収入および支出の状況
 平成27年9月30日現在

※企業会計とは・・・

民間企業と同じようにその仕事自体に収益があり、その収益で支出を賄う仕事をまとめた会計です。

企業会計

事業	収益的収支	収入	
		収入	支出
水道事業	収益的	10億4,173万円	9億7,830万円
	資本的	2億3,864万円	5億 668万円
病院事業	収益的	23億7,429万円	31億6,187万円
	資本的	2億 836万円	2億6,377万円
交通船事業	収益的	2億 922万円	2億 922万円
	資本的	0円	2,569万円

※収益的収支・・・経営活動によって発生するすべての収入と支出

※資本的収支・・・施設の建設改良に関する投資的な収入と支出

※特別会計とは・・・

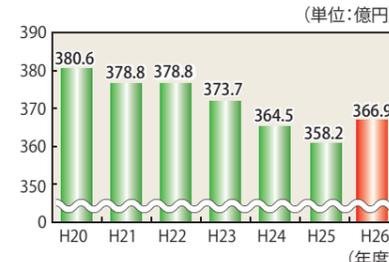
国民健康保険は国民健康保険税で、介護保険は介護保険料でといったように、特定の収入で特定の支出を賄う仕事をまとめた会計です。

特別会計

区分	収入	支出
国民健康保険(事業勘定)	53億5,745万円	53億3,270万円
国民健康保険(度島直診勘定)	6,214万円	6,214万円
国民健康保険(大島直診勘定)	1億1,206万円	1億1,206万円
後期高齢者医療	4億1,546万円	4億1,504万円
介護保険(保険事業勘定)	41億3,128万円	40億6,274万円
介護保険(サービス事業勘定)	2,868万円	2,868万円
農業集落排水事業	1,283万円	1,283万円
宅地開発事業	157万円	157万円
あづち大島いさりびの里事業	1,199万円	1,199万円
電気事業	1,969万円	1,969万円
給与管理	32億7,866万円	32億7,866万円

市債残高(全会計)

■市債残高の推移のグラフ (単位:億円)



市債残高は8億7千万円増加

市の借入金である市債は、近年の縁故債を中心とした繰上償還の実施に伴い減少傾向にありましたが、平戸市未来創造館など大規模な施設整備に合併特例債を積極的に活用したため、起債発行額が一旦増加に転じたものです。今年度も計画的な繰上償還の実施により、さらなる財政の健全化に努め、将来の公債費負担の軽減を図ります。

健全化判断比率と資金不足比率



財政指標

すべてにおいて判断基準内の財政状況

平成19年に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」により、毎年度、健全化判断比率などを算定し、議会に報告するとともに市民の皆さんに公表しています。平成26年度決算に基づく比率(指標)は、前年度と同様にいずれも国の基準(イエローカードとされる早期健全化基準)を下回り、財政状況は、おおむね健全であるといえます。各指標の改善は、平成19年度から実施している借入金(市債)の繰上償還によるところが大きく影響しており、今後も行財政改革の取り組みを継続し、引き続き健全な財政運営に努めます。

健全化判断比率	説 明	平成26年度	平成25年度	国の基準	
				早期健全化基準(イエローカード)	財政再生基準(レッドカード)
実質赤字比率	一般会計などの赤字から財政運営の深刻度を見る指標	-	-	12.92%	20.00%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る指標	-	-	17.92%	30.00%
実質公債費比率	借金の返済額が大きすぎるから資金繰りの危険度を見る指標	8.5%	9.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	市が抱える負債の残高から将来の財政への圧迫度を見る指標	7.0%	24.0%	350.0%	-

※「実質赤字比率」および「連結実質赤字比率」は、赤字が生じていないため「-」と表示しています。

資金不足比率	説 明	対象会計	平成26年度	平成25年度	国の基準
					経営健全化基準(イエローカード)
-	公営企業の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る指標	水道事業・病院事業・交通船事業ほか	-	-	20.00%

※いずれの会計も資金不足が生じていないため「-」と表示しています。

